

## 超小型モビリティ モニター調査について（案）

【目的】ユーザー層毎に2人乗り超小型モビリティに期待する利用シーン、求める機能等を聴取し、超小型モビリティに適したユーザー層を明らかにするとともに、連絡会議メンバー等が利用を促進するための環境整備を図る。

## 【調査対象】

（1）以下のユーザー層で首都圏（政令市又は中核市）<sup>※1</sup> 在住者かつ免許保有者からそれぞれ5名程度

- ・ シニア世代（70歳以上）
- ・ 子育て世代（ワーキングマザー）
- ・ 免許取り立て（1年以内）
- ・ 30～60代の男性
- ・ 40代～60代の女性

（2）以下のユーザー層で居住地から一定道路距離圏内にSSが存在しない地域を含む市町村<sup>※2</sup> 在住者かつ免許保有者からそれぞれ10名程度

- ・ シニア世代（70歳以上）
- ・ その他世代（60歳以下）

※1 柏市を想定

※2 桐生市又は前橋市を想定

## 【調査方法】

1. モニターは実車（トヨタ超小型EV、日産NMC、トヨタi-Road、東大生研号）を試乗し、室内空間含むサイズ感を体感、走行（可能なものは公道を走行）及び駐車を体験。
2. 狭い駐車スペースへの駐車（メガウェブデモ動画等）や衝突試験（既存の軽自動車の衝突映像でキャビンの確保、エアバッグの展開等を確認）等、試乗では経験できないことについては動画を視聴。
3. ユーザー層毎にアンケート票記入及びグループインタビュー形式で調査項目について意見聴取。

## 【調査項目】

- ・ 現在の車両保有状況、駐車スペース及び充電コンセントの有無
- ・ 車を運転する頻度（毎日運転するか、1週間に1, 2回運転するか、過去5年間運転していないか等）
- ・ 日常の移動手段及びそれについて便利・不便に感じている点
- ・ 2人乗り超小型モビリティが実用化された場合に想定される利用機会、現在の移動手段からの代替可能性（車両購入維持費は軽自動車並みの前提）

- ・ 超小型モビリティに求める機能（ドア、エアコン）
- ・ 超小型モビリティに求める安全性
- ・ その他、駐車環境や充電インフラ等、環境面、制度面に期待すること